

みだい



秋祭り・納涼祭を終えて

相原 舜

令和7年度秋祭りと納涼祭は、10月1日に同日開催で行なわれま
した。

寮内は、開催の1週間ほど前から華やかに飾り付けが行われ、お祭
りムードに利用者さん達も期待に胸を膨らませていました。

当日の天気は生憎の雨、予定されていた屋台の出店、地域住民皆
様の参加は惜しくも叶いませんでしたが、寮内での秋祭りは予定通
り行われ、各寮間を移動しながら射的や輪投げ、魚釣りゲームなど
に挑戦し、昼食では焼きそばやアイスクリームなどの特別なメニュ
ーを楽しみ、午後には寮全体が集まったのカラオケ大会で大きく盛り
上がりました。そして、皆が最も楽しみにしていた花火も、予定時
刻には天気を持ち直し、無事打ち上げを行う事が出来、花火と共に
終わりゆく夏を皆で見送りました。

今回も納涼祭は梨の実寮・みだい寮共同開催で行なわれ、コロナ
禍で途絶えがちだった、各施設の交流の橋渡しとして大きな役割を
果たしました。今回は雨によって外出が制限された為利用者さんや
職員、そして周辺にお住いの方々との直接的な交流は出来ません
でしたが、来年の納涼祭は各施設そして地域住民が一体になったイベ
ントになれる事を願っています。



～ 旅行の思い出 ～



ハイジの村
楽しかったです



キティーちゃんに
会ってきたよお♪



皆仲良し!!
うっしっし～



7月～12月のハイライト

開所記念



スポーツ大会



ハロウィン



納涼祭・秋祭り



秋のレクリエーション



クリスマス



グループホームの日常生活



今現在こもればホームでは4名の利用者さんが入居しています。世話人や職員のサポートを受けながら、仲間との交流や日々の楽しみを共有し、和気あいあいと生活しています。私が法人に入職し、10年以上たった中で初めて共同生活援助に携わりました。これまでとは違う日常生活の中で、利用者さん一人ひとりの生活に寄り添う支援の大切さを改めて感じています。

特に就労先での経験が、日常生活の充実へとつながっていく場面を目にすることが増えました。例えば、仕事で決められた手順で作業する経験は、帰ってきてからの身支度や片づけの習慣に自然とつながります。また「今日も頑張れた」との自信が、夕食時の表情や会話を明るくしてくれることもあります。就労は単に「働く場所」ということだけではなく、利用者さんの生活にハリを与え、1日のメリハリを作り、自己肯定感を育ててくれる大切な機会だと感じます。これからも。就労の経験をその人らしい日常生活に繋げていけるよう、寄り添いながらサポートしていきたいと思えます。

飯室 聖奈

※ R8年1～5月の行事予定 ※

- | | |
|--------------|--------|
| 1月 新年会 | 2月 節分 |
| 3月 お楽しみ会 | 4月 お花見 |
| 5月 障害者スポーツ大会 | |



新任職員挨拶
朝倉 多恵
10月からみだい寮に配属されました。山梨の美しい山々に惹かれ、令和7年の9月、夫と猫2匹とともに引越してまいりました。
障害のあるなしに関わらず、その人らしく思いっきり生かされる社会をみなさんと作っていきたいです。どうぞよろしく願います。

10月7日、県退職公務員連盟様（北嶋恒男会長）より、みだい寮・梨の実寮にタオルやボックスティッシュ、洗剤など計680個の生活必需品を寄贈していただきました。ありがとうございました。



みだい第76号 編集後記

本紙を編むにあたり、福祉施設での日常と人々の営みに改めて向き合いました。利用者の方々が抱える不安と期待、支援者の暖かな関りは、私たちの社会の最小単位である「居場所」の大切さを教えてくれます。施設の現場は決して理想のショーケースではなく、課題と葛藤が絡み合う現実です。しかし、そこには希望と創意工夫が満ちていて、職員の献身、家族の協力、地域の理解が連携することで、誰もが安心して暮らせる環境が少しずつ形になっていきます。個々の物語に耳を傾け、より豊かな生活の中でいくつもの笑顔が見られることを楽しみにしています。

編集後記 横小路・生亀